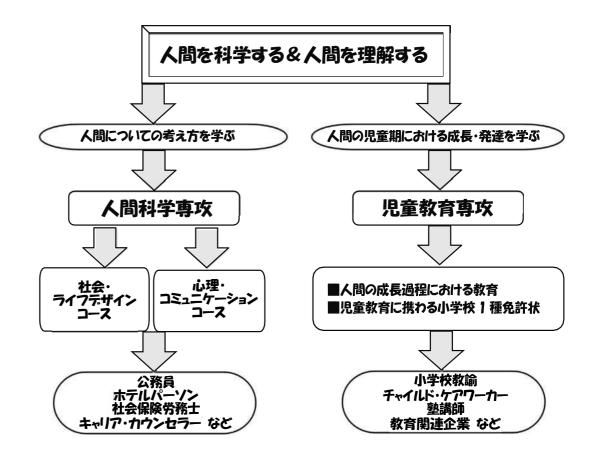
# 3. 人間科学部4年間の学び

人間科学部人間科学科は人間科学専攻と児童教育専攻を配置し、入学時に専攻が決定されていて、 専攻の変更は原則できません。また人間科学専攻では、2年次から「社会・ライフデザインコース」と 「心理・コミュニケーションコース」のいずれかを選択します。

本学の人間科学部では、人間科学概論、哲学、倫理学、教育学等を中心とする「人間に関する基礎科学」を学部の基礎科目として習得します。

その上で「人間科学専攻」では、「ヒューマンコミュニケーション論A/B」によって他者との関係性の在り方・重要性を学ぶと同時に、「ライフデザイン論A/B」によって成人として自らの人生・生涯をいかに主体的・自立的にデザインすることが重要であるかを学びます。 さらに 2 年次からは、各自が選択した「社会・ライフデザインコース」と「心理・コミュニケーションコース」の各コース科目を中心に、人間についての多面的かつ専門的な知識・能力を学んでいきます。

また「児童教育専攻」においては、「児童学概論A/B」、「児童心理学」によって、特に児童期に視点をあて、人間が成長していく過程における教育の基礎的重要性を学びます。さらに 2 年次からは、児童教育にかんするより専門的な科目を中心に、「こころの豊かな学生」を育成するとともに、こうした知識を活かす職業のひとつとして、小学校教諭を育成することも主たる目的のひとつとしています。



- 117 -

# 4. コース制について

人間科学部人間科学科人間科学専攻では、専門性の探求のために、2年次から「社会・ライフデザインコース」と「心理・コミュニケーションコース」の2コースからいずれかを選択しなければなりません。

# 1. コースの選択について

- コース登録は2年進級時の履修登録時に本人の申請により決定します。
- コースは2年以降のゼミの学びの内容にも関係しますので、ゼミ募集時(概ね1年 次の11月)のゼミ選択の際に充分に考慮してください。
- 他コースへの変更はコース登録した翌年(通常は3年次)に1度だけ変更できます。
- 所属コースによって卒業要件が異なります。コースを選択することは自分の専門分野を決定することです。

## 2. 各コース

### (1) 社会・ライフデザインコース

本コースは、社会生活全般にかかわる知識を学ぶとともに、社会や経済のしくみを理解し、将来の社会生活をコーディネートできる意欲と行動力のある人を創造するコースです。コース専門科目としては、①生涯にわたる社会生活全般や人間関係にかかわる知識を学ぶために、「ライフコース論」、「家族社会学」、「家族関係論」、「ジェンダー論」、「健康と医療の社会学」、「環境科学」が設置されています。また②社会や経済のしくみを学び、将来の社会生活をコーディネートできる力を身につけるために、「社会保障論」、「公的扶助論」、「消費者行動論 A/B」、「キャリアデザイン論」、「保険論 A/B」、「ジェロントロジー」、「高齢社会論」、「年金論 A/B」が設置されています。

### (2) 心理・コミュニケーションコース

本コースは、人間の多様な心の働きを学ぶとともに、コミュニケーション能力、企画力、行動力を身につけ、社会が求める多様な個性にあふれた人を創造するコースです。コース専門科目としては、①人間の多様な心の働きとその歴史的・文化的変遷を学ぶために、「社会心理学」、「青年心理学」、「認知心理学」、「実験心理学」、「現代哲学」、「文化交流史」、「文化変容史」、「文化人類学」、「比較文化学」が設置されています。また②多様なコミュニケーション能力、企画力、行動力を身につけるために、「対人関係論」、「キャリア心理学」、「経営心理学A/B」、「異文化間コミュニケーション論」、「多文化共生論」、「グローバル・コミュニケーション」が設置されています。

学年	ゼミ	通常講義科目								
	ゼミI	基礎コンピ	【日本語 I / II 】	:通科目(選択必修) 国語科目 資科目 合科目 全生科目 多)						
		教養科目 (人文領域) (社会領域) (自然領域) 情報科目								
1年物			人間科学部必修科目							
平次			人間科学概論A/B							
			人間科学部選択必修科目							
		人間科学基礎論/人間科学方法論 心理学A/B、哲学A/B、倫理学A/B、教育学A/B 言語学A/B、社会学A/B、健康科学A/B 科学史A/B								
		人間科学		児童教育専攻科目						
		ライフデザイン ヒューマンコミュニケー	児童学概論A/B(必修) 児童心理学(必修) ボランティア論A/B							
		人間科学専攻	選択必修科目	児童教育専攻選択必修科目						
2年次	ゼミⅡ	社会・ライフデザインコース キャリアデザイン 環境社会には、アデザイン では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	心理・コミュニケーションコース	臨床心理学 カウンセリング論 児童教育論A/B 社会福祉論A/B 人間形成論 特別支援教育A/B						
3年次	ゼミⅢ	年金論A/B 消費者行動論A/B	文化人類学 比較文化学	生涯発達論						
4年次	ゼミⅣ									
			  利日の配当学在に注音すること							

<sup>※</sup>実際の履修の際は、全学共通科目などの各科目の配当学年に注意すること。

また、掲載の科目のほかに他学部関連科目の履修にも注意すること。

# 5. 教育プログラム表について

# 教育プログラム表の見かた

- ①「専門的知識とスキルの修得」の欄に各コース・専攻の学習到達目標が示されています。
- ②「科目名」の欄に各コース・専攻に配置されている専門科目がすべて挙げられています。各科目が担っている目標項目は◎(特に重要な目標項目)と〇(重要な目標項目)で示されています。
- ③「当該科目を受講する前に履修してほしい科目」の欄に各専門科目を受講する前に 履修してほしい科目は何かが示されています。これは履修の前提条件となる「前提 科目」とは異なりますが、各コース・専攻の学習到達目標を達成するためには、これを念頭に置いて履修することが望ましいと考えられます。
- ④「履修モデル(ガイド)」の欄に、いくつかの職業イメージや学習内容に対応する履修すべき科目が◎(特に履修すべき科目)と〇(履修するのが望ましい科目)が示されています。
- ★専門科目を履修する際には、必ず上の① $\sim$ ④を確認してから、履修科目を決めましょう。

# 教育プログラム表

相補

①人文領域   ○文化の特徴を、歴史、文学、地理、思想、芸術、宗教などの側面から説明できる。   1~ 然地理学/人文地理学
--

# 人間科学専攻

	学習到達目標			専門的知識とスキルの値	\$得(人間科学專攻) 	
			①さまざまな人間観とその問題点 を知る	②人の体と心のはたらきを知る	③コミュニケーションを知る	④支えあう人と人とのつながり 人、家族、地域、異文化)を知
達成度合いを	具体的イメージとレベル 展体的な例一達成度を評価す 学)	る判断基	〇思想、文学、科学の領域に現れた代表的人間要と設明できる。 の近代の人間観を説明できる。 の近代の人間観察がいき起こしている代表的問題を説明できる。 ク人間と他の学化との解似点と報道点 を列撃できる。 ウヒューマン・ネイチャー(人間本性)を 考える意義を説明できる	〇人の基礎的な心のはたらきや行動のしく みを説明できる 〇戦祭や実験から得られた科学的な事実を とに、人間のは学的特性を説明できる 〇上いの誕生から老年期に至るまでの生涯 発達の通程とその特徴、問題も説明がで きる 〇健康であるとはどのようなことか、現代に おける代表的な健康問題を説明できる 〇科学的な認識と方法、問題品を説明できる	○コミニケーション能力とは何か、それが人間関係をどのように成長させる のかを実現できる。 の自分を可参え人間関係の分析を行い、自分を見つかなおす分析表を作る ことができる。 ○自分のアイデンティティがつくられる しくかを説明できる ○ことばとことば以外の手段によって他 者を理解する仕組みを説明できる	〇社会との関わりのなかで変容す。 基の現状を、問題点を含めて説明 〇 現代における代表的な社会問題 認明できる 〇個人は社会のしくみとどのように りあっているのかを自分の生況か がに発見して説明することができる 〇社会かな化の歴史的変数を、事 にもどういて具体的に説明できる 〇葉なた日女でなの選いで、具体の あげて説明できる
区分 分類	科目名 履修年次					
	人間科学概論A 人間科学概論B	1~	© ©	0	0	0
学部必修科目	人間科学基礎論	1~	©	Ö	Ö	Ö
	人間科学方法論	1~	0	0	0	0
	心理学A 心理学B	1~	0	© ©		
	哲学A	1~	0			
	哲学B 倫理学A	1~	0			
学	倫理学B	1~	0	<u> </u>		
部線	言語学A	1~		0	0	
選 択 必	言語学B 社会学A	1~	©	0	0	
心 修 科	社会学B	1~	, , ,			_
科目	教育学A 教育学B	1~	©			© O
	健康科学A	1~	<u> </u>	0		
	健康科学B	1~		0		
	科学史A 科学史B	1~	© ©	© ©		
	外書講読	2~	0	Ĭ	_	
凼	ヒューマンコミュニケーション論A(必修) ヒューマンコミュニケーション論B(必修)	1~			© ©	0
18	ライフデザイン論A(必修)	1~			<u> </u>	0
-	ライフデザイン論B(必修) 環境科学	1~	©			0
	環境科子 キャリアデザイン論	2~	⊌		0	
社 会	健康と医療の社会学	2~		0		0
5	ジェンダー論 ライフコース論	2~ 2~	©		0	© ©
ライフデザ	家族社会学	2~				0
ザ	家族関係論 社会保障論	2~ 2~		0	0	© O
インコ	公的扶助論	2~				Ö
1	ジェロントロジー 高齢社会論	2~	0	0		
ス選択	保険論A	2~				
100	保険論B 年金論A	2~ 3~				
科科	年金論B	3~		<u> </u>		
	消費者行動論A	3~		0		0
IQ.	消費者行動論B キャリア心理学	3~ 2~		0	0	0
理・	グローバル・コミュニケーション 現代哲学	2~ 2~	©		0	<u> </u>
_ =	青年心理学	2~	⊌	0	0	0
==	異文化間コミュニケーション論 多文化共生論	2~			0	© ©
ケート	多文化共生調 認知心理学	2~	0	©	©	⊌
ショ	実験心理学	2~	0	0		
ン選	社会心理学 対人関係論	2~ 2~	0			©
択必修	文化交流史	2~				
科	文化変容史 文化人類学	2~ 3~				©
B	比較文化学	3~	_			
	児童学概論A 児童学概論B	1~	0			0
	児童心理学	1~	0	0	_	
	ボランティア論A ボランティア論B	1~	0		0	© ©
児童	臨床心理学	2~	0	0	0	-
童 教	カウンセリング論 児童教育論A	2~ 2~	0	0	©	©
児童教育専攻	児童教育論B	2~	_	_	_	0
i   **	社会福祉論A 社会福祉論B	2~ 2~	© ©	© ©	© ©	© ©
	人間形成論	2~	0	0	-	
	特別支援教育A 特別支援教育B	3~ 3~	0	0		0
$\perp$	発達心理学	3~	Ĭ	0		0
	簿記I 簿記I	1~				
商	マーケティング論A	2~				
学分	マーケティング論B 金融総論A	2~ 2~				
93	金融総論B	2~				
	会計学総論A 会計学総論B	2~ 2~				
, 🗀	経営学概論A	2~				
経営	経営学概論B 経営組織論A	2~ 2~				
営学分野	経営組織論B	2~				
	経営労務論A 経営労務論B	3~ 3~				
1 ~		2~				
4	民法(法律行為)					
E 939	民法(債権)	2~				
関						
関連分	民法(債権) 地方自治A 地方自治B 法文化論A	2~ 2~ 2~ 3~				
関連	民法(債権) 地方自治A 地方自治B	2~ 2~ 2~				

	本的かがサーフといる	N. 66 (4 / 1 ) 图 2 / (4 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 · 1 ·		
⑤人と社会の複雑な関係を知る	専门的知識とスキルの ⑥自立した生活を営むためのしく みを知る	D修得(人間科学専攻) ⑦生活上の困難に対処するため のしくみを知る	⑧お金と仕事の基礎を知る	
○社会学の代表的な学説を列挙できる ○高齢者や博客者が導らしやすい環 境を行るための方法や政策を提案でき る ○社会を置かにしていための方法や 考え方を説明できる ○原書者、高齢者、女性などの社会的 の男者が限える諸問題を説明できる ○共生社会を発ぐかめに個人に求めら れる責任を概況することができる	きる 〇自立した家庭生活や職場生活を送る	〇生活を築むうえで直面するリスクとそれに対なする手段を説明できる り社会保険やどを積むなどの社会保 順制度のレイルを説明できる 〇世代間決策が得声が起帯の自立 と共生のレイルを説明できる 〇世の現実をが得声が出来る できる のリスクに対するマネジメントを立案で きる	〇物とお金の流れとそのしくみを概説 することができる 〇仕事組織のしくみを概説することが できる 〇顧客・市場・企業といったマーケティ ングにおける主要な関係を概説するこ	当該科目を受講する前に履修してほしい科目
0	0	0		
0	0	0		
0	Ŭ	Ü		
0				
0				
	0			
	© ©	© ©	© ©	
0		₩	<b>₩</b>	
	© ©	0		
© O	0			ライフデザイン論A/B
<u>*</u>	0			
	0	0	0	ライフデザイン論A/B
0	© ©	©	0	ライフデザイン論A/B 人間科学概論A/B
0	0	©	0	人間科学概論A/B
	0	0	Ö	
0	0	© ©		社会保障論A/B、ライフデザイン論A/B 年金論A、社会保障論/公的扶助論
	0		0	社会学A/B、社会心理学/対人関係論 社会学A/B、社会心理学/対人関係論
	0		_	
				旧本人抽些
	0			児童心理学 人間科学概論A/B、ヒューマンコミュニケーション論A/B
	0			人間科学概論A/B、ヒューマンコミュニケーション論A/B 心理学A/B
				心理学A/B
	0	0		
© ©				外国史または日本史 外国史または日本史
©				人間科学概論A/B 人間科学概論A/B
0				
© ©	© ©	© ©		
© ©	© ©	© ©		ボランティア論A/B ボランティア論A/B
<u> </u>		<u> </u>		人間科学概論A/B
	0			社会福祉論A/B 社会福祉論A/B
0			©	人間科学概論A/B
			© ©	
			0	
			© ©	
			© ©	
			©	
			© ©	
			© ©	
			© ©	
			₩ 	

122

# 児童教育専攻

	学習到達目標			専門的知識とスキルの修得(児童教育事故)				
					Eデル	①人間科学の基礎知識	②コミュニケーションの基礎知識	③ライフデザインの基礎知識
(達成	具体的イメージとレベル (達成度合いを示す具体的な例一達成度を評価する判断基準)			教員志望	その他	○人間科学が認合科学であることを理解した上で、それを基礎づ ける多様な学問課題を判算することができる。 のであかが人間報告記録し、それらがもたらした影響や理 の人間のの終こついて、多様な雑念から捉えることができる。 ○規化社会における人間を取り他く指揮器を判奪することができる。 も、	○3ミュフケーシュの意義について設定することができる。 ○3ミュフケーシュの多様の多能とそれぞれの特徴について設備 することができる。 ○9様なコミュフケーションが人間や性をになっず事を保護に ついて説明することができる。 ことできる。 ことができる。 ことができる。	○ライフデザインの意義について説明することができる。 ○ライフデザインを行うたかに必要なな多手は電点を理すること シライフデザインを実施できることができる。 ○考えられたライフデザインを実施するための方達について説明 することができる。
区分	分類	科目名 人間科学概論A	履修年次 1~	0	0	©	0	0
\$280 B	必修科目	人間科学概論B	1~	0	٥	0	0	0
		人間科学基礎論 人間科学方法論	1~	0	0	© ©	0	0
		心理学A	1~	0	٥	0	Ŭ	Ŭ
		心理学B 哲学A	1~	0	0	© ©		
		哲学B	1~	0	0	©		
		倫理学A	1~	0	0	0		
	学	倫理学B 言語学A	1~	0	0	© ©	0	
	学部選切	言語学6	1~	0	0	0	0	
	選択必修科目	社会学A 社会学B	1~	0	0	© ©		
	目	教育学A	1~	٥	0	0		
		教育学B 健康科学A	1~	0	0	© ©		
		健康科学B	1~	0	0	0		
		科学史A 科学史B	1~	0	0	© ©		
L		外書講読	2~	0	0	0		
	人間	ヒューマンスミュニケーション場合	1~	0	0 0	0	© ©	
	科学専	t1-マンコミュニケーション論B ライフデザイン論A	1~	0	0	0	<b>⊍</b>	0
	攻	ライフデザイン論B	1~	0	0	_		0
		環境科学 キャリアデザイン論	1~ 2~	0	0	0	-	0
		健康と医療の社会学	2~	0	0	0		_
	24	ジェンダー論 ライフコース論	2~	0	0	©		©
	社会	家族社会学	2~	0	0		0	0
	ライフデザインコー	家族関係論 社会保障論	2~	0	0	0	©	0
	÷	公的扶助論	2~	0	0	0		
	マンコ	ジェロントロジー 保険論A	2~	0	0	©	0	0
	ス	保険論B	2~	0	0			©
攻涸		年金編A	3~	0	0			0
専攻選択必修科目		年金論B 消費者行動論A	3~	0	0			© ©
科目		消費者行動論B	3~	0	0		_	0
		キャリア心理学 グローバル・コミュニケーション	2~	0	0		0	0
		現代哲学	2~	0	0	0		
	心理	青年心理学 異文化問3ミュニケーション論	2~	0	0	0	0	0
		多文化共生論	2~	0	0	0	0	
	コミュニケー	認知心理学 実験心理学	2~	0	0		0	
		社会心理学	2~	0	0	0	©	
	ション	対人関係論 文化交流史	2~	0	0	©		©
	ンコース	文化変容史	2~	0	0	0		
		経営心理学A 経営心理学B	2~	0	0		0	
		文化人類学	3~	0	0	0		
		比較文化学 児童学概論A(必修)	3~ 1~	0	0	© O		
		児童学概論B(必修)	1~	0	0	0		
		児童心理学(必修) ボランティア論A	1~	0	0	0	©	
		ボランティア論B	1~	0	0	0	0	
専攻	児	臨床心理学 カウンセリング論	2~ 2~	0	0 0	0	0	
専攻選択必修科目	児童教育専	児童教育論A	2~	0	0			
修科月	専攻	児童教育論B 社会福祉論A	2~ 2~	0	0	0	0	0
		社会福祉論B	2~	0	0	0	0	0
		人間形成論 特別支援教育A	2~ 3~	0	0	©	0	
		特別支援教育B	3~	0	0		0	
		生涯発達論	3~ 1~	0	0		©	
		海郡 I 海郡 II	1~	0	0			
	商	マーケティング論A マーケティング語A	2~ 2~	0	0 0			
	商学分野	マーケティング論B 金融総論A	2~	0	0			
	_	金融総論日	2~	0	0 0			
		会計学総論A 会計学総論B	2~	0	0			
		経営学概論A	2~	0	0			
gan.	17	経営学概論 B 経営心理学A	2~	0	0			
他学部関連科目	経営学分野	経営心理学B	2~	0	0			
関連科	分野	経営組織論A 経営組織論B	2~	0	0			
8		経営労務論A	3~	0	0			
	関連	経営労務論B 民法(法律行為)	3~ 2~	0	0			
	埋 分 野	民法(債権)	2~	0	0			
		地方自治A 地方自治B	2~	0	0			
		法文化稿A	3~	0	0			
		法文化論B 民法(契約)	3~ 3~	0	0			
		民法 (物権変動と担保)	3~	0	0			
		Current Social Problems	2~	0	0	1	1	l

	専門的知識とスキルの修得(児童教育専攻)		
④児童についての基礎知識	⑤教育についての基礎知識	⑥児童教育を支える社会のしくみについての基礎知識	
○児童について学ぶを機について協明することができる。 ○児童について研究する多様な学問情報を列等することができる。 ○児童の特徴について多様な雑点から説明することができる。 ○別機と対する兄弟の代表がありません。 の別様なにおける児童を引きく話に関係と列等することができる。 もの	○最前の最重について指導することができる。 ○代書が必要有理能について指導、それにに基準分けられた数 有方法を増有用でいて影響することができる。 ○日本の学校教育教度について設御することができる。 ○日本の学校教育教度について設御することができる。 ○現社会における教育に関する顕微を列学することができる。	○児童教育を社会が支えていてこの意義について説明することが できる。 になっている。 になっている。 のからについて、記録することができる。 の児童雑なの意報や課題について、説明することができる。 現代によれる心理ないません。 ではことができる。 ではことができる。 ではことができる。 できることができる。	当該科目を受講する前に履修してほしい科目
0	0		
0	0		
0	0		
	© ©	0	
		0	
			ライフデザイン論A/B
			ライフデザイン論A/B
			人間科学概論A/B
			社会保障論A/B、ライフデザイン論A/B
		0	年金論A、社会保障論 / 公的扶助論 社会学A/B、社会心理学 / 対人関係論 社会学A/B、社会心理学 / 対人関係論
		Ü	LATTO CLARGET / AJVINION
			児童心理学
			人間科学概論A/B、ヒューマンコミュニケーション論A/B 人間科学概論A/B、ヒューマンコミュニケーション論A/B
			外国史または日本史
			外国史または日本史
			人間科学概論A/B
©		0	人間科学概論A/B
0	0		
0	0	0	
© O	0	0	
0		0	ボランティア論A/B ボランティア論A/B
			人間科学概論A/B
0	0		社会福祉論A/B 社会福祉論A/B
0	0	©	人間科学概論A/B
		© ©	
		© ©	
		0	
		© ©	
		0	
		0	
		© ©	
		0	
		0	
		© ©	
		0	

124